

平成26年度 斜里福祉社会事業報告

1. 運営概要

(1) 法人運営

昨年は、今後の国の在り方を問うような動きの多い年で、TPP問題、武器輸出新基準、集団的自衛権行使容認、衆議院議員選挙などをめぐる動きがありました。生活環境を取り巻く動きも消費税8%スタート、火山噴火、巨大台風、爆弾低気圧等さまざまな出来事があった。

福祉の分野においては、社会保障制度について財源的な視点からの改正が多く、介護保険や医療保険の自己負担引き上げ、給付の抑制など国民や事業者に負担を求める内容になっているように思う。平成27年度の介護保険関係、障害者制度関係ともに計画の見直しにあたって、介護報酬は特養をはじめとして大幅な減額、自立支援給付費も実質減額となり、経営面での危機的な状況に陥ろうとしている。

このような背景にあって、当法人としては地域における福祉サービス提供の一翼を担う立場にあるとの認識から、公益性や地域貢献を強く意識した運営に努めてきたところである。

平成26年度の法人運営は、何をおいても地域密着型特別養護老人ホームえみあるの運営を軌道に乗せ、その増築による小規模多機能ホームえみあるの運営開始に向けた人材確保等の準備事務に力を注いだ一年であった。建設費高騰への対応から着手時期が遅れた増築工事は、冬期間に亘る工期ながら工期内完成を見たところである。

また、当初より厳しい課題であった人材確保については、行政との共同の責任の名の下に財政的支援も受けながら確保に努めたが、厳しい結果となっている。年度当初からの運営開始は実現できてはいるが、予定規模での運営に向けて取り組み強化を要する状況である。

高齢者福祉事業分野においては、平成25年3月から休止となった併設型短期入所事業について、年度途中6月からの再開に漕ぎつけたものの、予期せぬ退職者の発生と新規採用者の初期養成期間確保のため、短期間とは言え2ユニットの利用調整が生じる状況すら生まれた。年度末においては、特養1ユニット分の利用調整となっているが、高齢者福祉部門における事業活動収支の経常収支差額における対前年度比で△26,000千円という大幅な減額という結果となった。

障害者福祉事業分野では、運営基本方針にそって利用者の支援面における改善に努めて参りましたが、重点目標としていた配置基準に基づく職員の配置を達成するには至りませんでした。平成27年度に向けて人員確保が整うに至った。

また、斜里町の指定を受けて平成26年4月からスタートした相談支援事業所「ゆい」の運営は、収支に関する課題は小さくないものの、12市町村の利用者への利用計画作成、モニタリングに携わった。

財務面においては、年度途中より重度支援加算への切り替えはあったものの、共同生活援助事業における夜勤体制加算の増額等があり、事業活動収支の経常収支差額における対前年度比は19,000千円となった。

法人全体での人材確保に関しては、特養やすらぎの苑の1ユニット利用調整、多機能ホームえみあるの新規開設、日の出学園の職員配置体制充足など、多くの増員を必

要とする状況下で人員確保の取り組みを進めたが、その結果は大変厳しいと言わざるを得ないものである。募集にあたっては、一昨年途中から無資格者についても対象とするものとしており、採用後の介護職員初任者研修資格取得支援と合わせて、一定の成果を得ている。

このように、非常に厳しい職員体制や経営環境の中で平成26年度の事業運営を進めてまいりましたが、役職員及び関係機関等のご理解やご支援のもと、事業計画に則り新規事業の開始や経常的な各事業の運営についてはほぼ所期の目的を達成することができましたことをご報告致します。

(2) 各施設等の事業運営状況について

1) 障害者福祉分野

日の出学園においては、近年、利用者個々への健康管理の面で、各種検診の結果や日々の暮らしの中で起きる体調の不調による通院で、予期せぬ病気の発見があります。本年度は、よくある体調不調と思われていた症状が、数回の通院を経て、末期の癌だということが判明し、罹患され、死期を間近にされた利用者の支援について学ばせていただいた年となりました。あわせて今回、施設でのターミナルケアを経験し、日々の暮らしの中でも命の大切さを意識し、利用者と向き合って支援を行っていくことが重要であることを再確認しました。

多機能型ワークセンター青葉の就労継続支援事業の面では、2名の新規利用者を迎え、斜里町の委託事業である配食サービスはもとより、町内企業の協力を得て、利用者の体験実習を実施し、一般企業で働く喜び意欲の向上につなげることができ更に工賃アップに繋がる結果となりました。

同じく生活介護事業の面では、本年度は体力維持のための運動に力をおいた支援を行い、従来どおり個々に沿った創作活動などや図書館等公共施設を利用した社会参加を通じて活動領域の拡大にも努めました。加えて、日々の活動内容の写真などを通して家族に伝え、家族の安心につなげ、事業所での活動が家庭の生活に生かされるよう新たな取り組みも行いました。

共同住居事業所ブーケについては、新たな夜勤支援体制加算の取得とともに、夜間の勤務体制を明確にし夜間支援の充実を図りました。

相談支援事業については、職員の資格取得、研修受講等の準備を進め、斜里町からの事業指定の後、平成26年度4月から開設することができました。収支には関しては、利用計画作成費収入にばらつきもあり、厳しい運営状況にありましたが、今年度の実績としては、利用計画作成48件でありました。

人事関係は、日の出学園においては、支援員、看護師不足の状況が続きましたが、利用者の支援に支障のないよう、勤務体制の変更及び部署間の協力体制などにより対応してまいりましたが、次年度にむけ支援員4名の確保ができ、人材確保の面で明るい兆しがみられました。

障害者福祉事業全体での収支状況は、資金収支差額は実質15,000千円、事業活動収支差額は前年比18,000千円増の3,000千円という結果となりました。

2) 高齢者福祉分野

平成26年度における重要な取組み課題であった小規模多機能居宅介護施設（小規模多機能ホームえみある）整備事業は、年度中にえみある増築工事を終え、平成27年4月1日に事業所指定を受けるに至り、関係各位に厚く御礼を申し上げます。しかし、職員体制については年度中に予定した体制を整えるに至らず、早期に体制を整え、期待に応えうる運営を目指したいと思うところです。

高齢者福祉事業部門のこの一年間は、ケアハウス20床の93.8%、特養えみある20床の90.0%の稼働があったものの、特養やすらぎの苑60床は75.8%、短期入所やすらぎの苑10床も69.3%を稼働させるに留まる結果となりました。人員不足による利用調整を続けざるを得ない結果であり、収支状況に大きな影響を与えたのみならず、社会資源としての役割を果たしきれない無念さとともに、人材確保の課題の深刻化を痛感するものです。

人材確保の困難さについては、養成校からの確保がますます難しくなり、人材を如何に何処に求めるのかが大きな課題となっています。このようななかで、年度中において常勤者12名、非常勤者10名を採用できたことは幸いと評すべきことかとも思います。

人材確保と並んで力を注いでいる人材育成に関しては、引き続きプロの指導者を招いての介護技術研修を継続し、とりわけ移乗技術・入浴介助方法について反復してその技術習得を目指しました。機能訓練についても、事業間でのばらつきはあるものの徐々に拡大・充実の方向へ向かっています。他方、一定の成果を挙げていた既設の喫茶コーナーでの取り組みについては、配属職員体制の都合から中断を余儀なくされている残念な状況にあります。

最後に、収支状況についてであります。利用調整を余儀なくされたことから、当初収入予算と比して約5,900万円の減収となり、実質的には約3,600万円の赤字決算という結果となりました。積立金取崩額も2,600万円を要するという大きな痛手を残すこととなりました。このことは、経常収支差額ではプラスを保っているなど収支構造から生じたものではないとはいえ、一日も早くこの利用調整を終了させ収支安定を図る必要があると受け止めております。

2. 法人運営に関する事項

(1) 役員に関する事項

①平成27年3月27日現在での第13期役員及び第6期評議員体制は次の通りでした。

理事長	櫻庭 榮	兼評議員			
理事	馬場 浩一	〃			(第一職務代理者)
理事	木村 好伸	〃			(第二職務代理者)
理事	永山 衛	〃			
理事	鈴木 正江	〃			
理事	高杉 綾子	〃			
理事	山田 恒美	〃			
理事	石田 信雄	〃			(常務理事兼法人本部事務局長)
理事	遠藤 孝憲	〃			(日の出学園施設長)
理事	佐藤 寿記	〃			(やすらぎの苑施設長)
評議員	秋保 勝巳		評議員	門馬 恵彦	
評議員	橋本 敏雄		評議員	橋本 幸輝	
評議員	三浦 勝利		評議員	小島 扶佐子	
評議員	梅木 利夫		評議員	小沼 清純	
評議員	横浜 伸子		評議員	坂井 幸雄	
評議員	森 康太郎				
監事	椿原 稔		監事	寺口 繁男	

②平成27年4月1日現在の第14期役員及び第7期評議員体制は次の通りとなっています。

理事長	櫻庭 榮	兼評議員			
理事	馬場 浩一	〃			(第一職務代理者)
理事	木村 好伸	〃			(第二職務代理者)
理事	永山 衛	〃			
理事	山田 恒美	〃			
理事	横浜 伸子	〃			
理事	遠藤 孝憲	〃			(日の出学園施設長)
理事	佐藤 寿記	〃			(常務理事兼法人本部事務局長) (やすらぎの苑施設長)
評議員	秋保 勝巳		評議員	門馬 恵彦	
評議員	橋本 敏雄		評議員	橋本 幸輝	
評議員	三浦 勝利		評議員	小島 扶佐子	
評議員	梅木 利夫		評議員	坂井 幸雄	
評議員	森 康太郎				
監事	椿原 稔		監事	三宅 正人	

(2) 理事会

本年度における理事会は、第200回から第211回まで12回開催し、理事の出席率は、平均で94.9%でした。

1) 平成26年4月9日(水) 第200回理事会(出席理事9名)

報告1 諸報告

2 地域密着型特別養護老人ホームえみあるに係る入所契約書案等について

- 議案 1 新たに取得する財産の所有権保存登記、担保提供及び基本財産への編入に係る手続きの承認
- 2 社会福祉法人斜里福社会定款の一部改正について

2) 平成26年5月28日(水) 第201回理事会(出席理事8名)

- 報告 1 諸報告
 - 2 平成25年度第4・四半期末の経理状況について
 - 3 平成25年度第4・四半期(1月～3月)監査結果について
- 議案 1 平成25年度斜里福社会事業報告について
 - 2 平成25年度一般会計収支決算の承認について
 - (1) 法人本部会計収支決算
 - (2) 障害福祉事業関係収支決算
(入所支援、ワークセンター青葉、共同住居事業所ブーケ等経理区分)
 - (3) 高齢者福祉事業関係収支決算
(施設入所、短期入所、ケアハウス経理区分)
 - 3 平成25年度斜里福社会財産目録の承認について
 - 4 平成25年度斜里福社会決算監査報告について
 - 5 やすらぎの苑防火規程の一部改正について
 - 6 日の出学園の送迎用福祉車両購入に係る契約について
 - 7 斜里福社会評議員の選任について
- 協議 1 小規模多機能型居宅介護施設の整備について

3) 平成26年9月19日(金) 第202回理事会(出席理事9名)

- 報告 1 諸報告
 - 2 平成26年度第1・四半期末の経理状況について
 - 3 平成26年度第1・四半期(4月～6月)監査結果について
- 承認 1 日の出学園の送迎用福祉車両購入契約締結に係る専決処分の承認について
- 議案 1 平成26年度法人本部会計第1次収支補正予算について
 - 2 平成26年度高齢者福祉事業関係第1次収支補正予算について
 - 3 準職員・臨時職員・パート職員就業規程の一部改正について
 - 4 社会福祉法人斜里福社会障害者支援施設日の出学園利用者預り金等取扱要領の一部改正について
- 協議 1 小規模多機能型居宅介護施設「えみある」の整備について

4) 平成26年10月1日(水) 第203回理事会(出席理事10名)

- 報告 1 諸報告
- 議案 1 平成26年度法人本部会計第2次収支補正予算について
 - 2 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事資金借入金に係る事前承認について
 - 3 地域密着型特別養護老人ホームえみある外構整備工事資金借入金に係る事前

承認について

- 4 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事に係る契約について
- 5 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事監理業務委託に係る契約について
- 6 地域密着型特別養護老人ホームえみある外構整備工事に係る契約について

5) 平成26年10月17日(金) 第204回理事会(出席理事9名)

- 議案1 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事に係る入札予定価格について
- 2 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事監理業務委託に係る入札予定価格について
 - 3 地域密着型特別養護老人ホームえみある外構整備工事に係る入札予定価格について

————— 入 札 執 行 —————

- 4 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事に係る契約締結の承認について
- 5 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事監理業務委託に係る契約締結の承認について
- 6 地域密着型特別養護老人ホームえみある外構整備工事に係る契約締結の承認について

6) 平成26年11月25日(火) 第205回理事会(出席理事9名)

報告1 諸報告

- 2 平成26年度第2四半期末の経理状況について
- 3 平成26年度第2四半期(7月~9月)監査結果について
- 4 やすらぎの苑に係る短期入所の一時受入調整について

議案1 小規模多機能ホームえみあるの介護用ベッド機器購入に係る契約について

- 2 小規模多機能ホームえみあるの電化製品購入に係る契約について
- 3 小規模多機能ホームえみあるの家具購入に係る契約について

その他1 平成27年度の職員体制について

- 2 斜里福祉会経理規程の改正について

7) 平成26年12月22日(月) 第206回理事会(出席理事10名)

報告1 諸報告

議案1 小規模多機能ホームえみあるの介護用ベッド機器購入に係る契約締結の承認について

- 2 小規模多機能ホームえみあるの電化製品購入に係る契約締結の承認について
- 3 小規模多機能ホームえみあるの家具購入に係る契約締結の承認について
- 4 平成26年度高齢者福祉事業関係第2次補正予算について

8) 平成27年2月6日(金) 第207回理事会(出席理事10名)

報告1 諸報告

- 2 平成26年度第3・四半期末の経理状況について
- 3 平成26年度第3・四半期(10月~12月)監査結果について
- 4 やすらぎの苑の老人短期入所事業の再開について
- 5 斜里町への人材確保対策等に係る支援要請状況について

議案1 平成26年度高齢者福祉事業関係第3次補正予算について

協議1 定款施行細則の制定について

- 2 平成27年度事業計画・予算編成方針案について
- 3 高齢者福祉事業関係の経営見通しについて

その他1 役員・評議員の改選について(口頭)

- 2 役員定数の改正について
- 3 介護報酬等の改定動向について(口頭)

9) 平成27年2月26日(木) 第208回理事会(出席理事10名)

報告1 諸報告

- 2 やすらぎの苑の老人短期入所事業の再開について
- 3 介護報酬等の改定動向について
- 4 役員等に係る傷害事故補償制度への加入について

議案1 小規模多機能ホームえみあるに係る事業計画案及び資金収支予算案の承認について

- 2 社会福祉法人斜里福祉会定款の一部改正について
- 3 社会福祉法人斜里福祉会定款施行細則の制定について
- 4 小規模多機能ホームえみある運営規程の制定について
- 5 社会福祉法人斜里福祉会経理規程の全部改正について
- 6 社会福祉法人斜里福祉会経理規程細則の制定について
- 7 社会福祉法人斜里福祉会資金運用規程の制定について
- 8 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事資金借入金及び担保提供に係る承認について
- 9 決算手当の支給に係る取扱いについて

協議1 災害時における避難所等施設利用に関する協定等の締結について

10) 平成27年3月11日(水) 第209回理事会(出席理事10名)

報告1 諸報告

議案1 小規模多機能ホームえみある運営推進会議運営規程の制定について

- 2 やすらぎの苑防災(防火)規程の一部改正について
- 3 小規模多機能ホームえみある施設長予定者の選任について

協議1 平成27年度斜里福祉会事業計画案及び資金収支予算案について

11) 平成27年3月25日(火) 第210回理事会(出席理事10名)

- 報告 1 諸報告
- 議案 1 平成27年度斜里福祉社会事業計画について
- 2 平成27年度斜里福祉社会福祉事業資金収支予算について
- 3 平成27年度資金収支予算の補正に関する権限の理事会への委任について
- 4 平成26年度法人本部会計第3次収支補正予算について
- 5 平成26年度障害者福祉事業関係第1次収支補正予算について
- 6 平成26年度高齢者福祉事業関係第4次収支補正予算について
- 7 社会福祉法人斜里福祉社会旅費規程の一部改正について
- 8 斜里福祉社会評議員の選任について
- 協議 1 小規模多機能ホームえみあるに係る利用契約書案等について

1 2) 平成27年3月28日(土) 第211回理事会(出席理事8名)

- 議案 1 理事長の互選について
- 2 利益相反行為及び双方代理事項に係る理事長職務代理者の選任について
- 3 理事長職務代理者の指名について
- 4 常務理事の指名について

(3) 評議員会

本年度における評議員会は、第34回から第38回まで5回開催し、評議員の出席率は平均で78.0%でした。

1) 平成26年4月9日(水) 第34回評議員会(出席評議員17名)

- 報告 1 地域密着型特別養護老人ホームえみあるの運営に向けた対応について
- 議案 1 新たに取得する財産の所有権保存登記、担保提供及び基本財産への編入に係る手続きの承認
- 2 社会福祉法人斜里福祉社会定款の一部改正について
- その他 1 特養えみあるの現地調査の実施について

2) 平成26年5月28日(水) 第35回評議員会(出席評議員13名)

- 報告 1 地域密着型特別養護老人ホームえみあるの運営状況について
- 議案 1 平成25年度斜里福祉社会事業報告について
- 2 平成25年度一般会計収支決算の承認について
 - (1) 法人本部会計収支決算
 - (2) 障害者福祉事業関係収支決算
 - (入所支援、ワークセンター青葉、共同住居事業所パーク等経理区分)
 - (3) 高齢者福祉事業関係収支決算
 - (入所施設、短期、ケアハウス経理区分)
- 3 平成25年度斜里福祉社会財産目録の承認について
- 4 平成25年度斜里福祉社会決算監査報告について
- その他 1 平成26年度の組織及び職員体制について
- 2 老人短期入所事業(併設分)の再開について

- 3) 平成26年10月1日(水) 第36回評議員会(出席評議員19名)
 報告1 諸報告(やすらぎの苑の運営状況について)
 議案1 平成26年度法人本部会計第2次収支補正予算について
 2 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事資金借入金に係る事前承認について
- 4) 平成27年2月26日(木) 第37回評議員会(出席評議員17名)
 報告1 諸報告
 2 やすらぎの苑の老人短期入所事業の再開について
 3 介護報酬等の改定動向について
 4 役員等に係る傷害事故補償制度への加入について
 議案1 小規模多機能ホームえみあるに係る事業計画案及び資金収支予算案の承認について
 2 社会福祉法人斜里福社会定款の一部改正について
- 5) 平成27年3月25日(水) 第38回評議員会(出席評議員16名)
 報告1 諸報告
 議案1 平成27年度斜里福社会事業計画について
 2 平成27年度斜里福社会社会福祉事業資金収支予算について
 3 平成27年度資金収支予算の補正に関する権限の理事会への委任について
 4 斜里福社会理事の選任について
 5 斜里福社会監事の選任について

(4) 監事監査

本年度中の監事による監査は、次の通り行われました。

平成26年 5月21日(火) (椿原・寺口監事) H25年度 第4・四半期、決算監査

平成26年 7月29日(火) (椿原・寺口監事) H26年度 第1・四半期監査

平成26年10月30日(火) (椿原・寺口監事) H26年度 第2・四半期監査

平成27年 1月28日(水) (椿原・寺口監事) H26年度 第3・四半期監査

※何れの監査においても、適正に処理されているとの報告を受けている。

(5) 定款変更

本年度中に行った定款の変更は、次の通りです。

- 1) 4月 9日(金) 第34回評議員会・第200回理事会で定款の一部改正
 ・変更理由 基本財産の変更(特養えみあるの建物を基本財産に追加)
 ・認可申請 5月 9日(届出のみで手続きが完了)
 ・改正施行 4月25日(保存登記完了の日)
- 2) 3月13日(金) 第37回評議員会・第208回理事会で定款を一部改正
 ・変更内容 ①小規模多機能型居宅介護の開始に伴う事業目的の改正

- ②理事定数の改正
- ③評議員定数の改正
- ④公益事業の錯誤修正のための改正

・認 可 平成27年3月18日日付認可 (才保社第5095指令)

(6) 登記事項

本年度中に行った登記事項は、次の通りです。

- 1) 不動産登記
 - ①平成26年4月25日えみあるに係る所有権保存登記
 - ②平成26年6月12日えみあるに係る抵当権設定登記
 - ③平成27年3月31日えみあるに係る建物表題部変更登記
- 2) 資産総額の変更登記 平成26年3月31日現在資産総額変更 平成26年5月23日登記
- 3) 事業の追加 平成27年3月24日付で第2種社会福祉事業に「小規模多機能型居宅介護事業」を追加 平成27年3月27日登記

(7) 諸規程の制定及び改正

本年度中に行った諸規程等の制定・改正及び施行状況は、次の通りです。

- ①やすらぎの苑防災規程の一部改正 平成26年04月01日適用
- ②準職員・臨時職員・パート職員就業規程の一部改正 平成26年10月01日適用
- ③社会福祉法人斜里福社会障害者支援施設日の出学園利用者預り金等取扱要領の一部改正 平成26年10月01日適用
- ④社会福祉法人斜里福社会定款施行細則の制定 平成27年4月1日適用
- ⑤小規模多機能ホームえみある運営規程の制定 平成27年4月1日適用
- ⑥社会福祉法人斜里福社会経理規程の全部改正 平成27年4月1日適用
- ⑦社会福祉法人斜里福社会経理規程細則の制定 平成27年4月1日適用
- ⑧社会福祉法人斜里福社会資金運用規程の制定 平成27年4月1日適用
- ⑨小規模多機能ホームえみある運営推進会議運営規程の制定 平成27年4月1日適用
- ⑩やすらぎの苑防災(防火)規程の一部改正 平成27年4月1日適用
- ⑪社会福祉法人斜里福社会旅費規程の一部改正 平成27年4月1日適用

(8) 関係機関への各種届出・報告

- ①4月16日 不動産登録免許税非課税証明発行依頼(えみある建物) 総合振興局
- ②4月24日 時間外労働・休日労働に関する協定届 北見労働基準監督署
- ③5月12日 基本財産担保提供承認申請書(えみある建物) 総合振興局
- ④6月24日 平成25年度社会福祉法人現況報告書提出 総合振興局
- ⑤6月24日 公益法人等の損益計算書等の提出 網走税務署
- ⑥7月24日 社会福祉法人・社会福祉施設運営調書の提出 総合振興局

(9) 業務委託・請負契約等の状況 (本部関係分)

- 1) 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事
 - ①入札日時 平成26年10月17日 午後3時30分～ 於：やすらぎの苑

- ②契約金額 74,520,000円（税込み）※税込予定価格 77,760,000円
- ③契約先 土橋・丸七高橋経常建設共同企業体
- ④工 期 平成27年3月20日

2) 地域密着型特別養護老人ホームえみある増築工事監理業務委託

- ①入札日時 平成26年10月17日 午後3時50分～ 於：やすらぎの苑
- ②契約金額 993,600円（税込み）※税込予定価格 1,479,600円
- ③契約先 北海道建築設計監理（株）
- ④工 期 平成27年3月31日

3) 地域密着型特別養護老人ホームえみある外構整備工事

- ①入札日時 平成26年10月17日 午後3時45分～ 於：やすらぎの苑
- ②契約金額 13,176,000円（税込み）※税込予定価格 13,921,200円
- ③契約先 土橋・丸七高橋経常建設共同企業体
- ④工 期 平成27年6月30日

4) 小規模多機能ホームえみある介護ベッド機器購入

- ①入札日時 平成26年12月11日 午前10時30分～ 於：やすらぎの苑
- ②契約金額 1,944,000円（税込） ※税込予定価格 1,944,000円
- ③契約先 (株)北装
- ④納期限 平成27年3月27日

5) 小規模多機能ホームえみある電化製品購入

- ①入札日時 平成26年12月11日 午前10時30分～ 於：やすらぎの苑
- ②契約金額 963,576円（税込） ※税込予定価格 1,188,000円
- ③契約先 (有)ビッグボックスマカベ
- ④納期限 平成27年3月27日

6) 小規模多機能ホームえみある家具購入（随意契約）

- ①開札日時 平成26年12月11日 午前10時～ 於：やすらぎの苑
- ②契約金額 1,004,400（税込） ※税込予定価格 1,004,400円
※予定価格に達しないため最低価格業者と交渉し予定価格で合意した
- ③契約先 (有)コムス
- ④納期限 平成27年3月27日

(10) 会計指導業務

○本年度行った会計指導業務については、次の通りです。

- ・委託先 (株)吉岡経営センター
- ・指導実施日 定例指導：4回 5月決算期：1回 計5回 その他随時応相談
- ・指導内容 伝票仕訳精査、勘定科目精査、財務諸表精査、決算準備指導
経営指導等

(11) 行政機関等への対応

- 1) 斜里町との協議 ①やすらぎの苑の利用者の処遇に関する通報対応
- 2) 総合振興局への対応 ①やすらぎの苑の利用者の処遇に関する通報対応

3) 定例指導監査受検対応 ①実施日：平成26年8月1日（金）

担 当：オホーツク総合振興局社会福祉課

対 象：社会福祉法人斜里福社会（法人運営管理）

社会福祉法人斜里福社会（会計基準）

特養やすらぎの苑（施設運営・入所者処遇）

ケアハウスやすらぎの苑（施設運営・入所者処遇）

(12) 役員の動向について

1) 本部事務局の主な動向

- ① 4月11日 ○特養えみあるの一般町民向け見学会を開催
- ② 11日 ○多機能えみあるの交付金申請について協議
- ③ 5月14日 ○斜里町と人材確保事業補事業に関する6月補正予算に関する協議
- ④ 20日 ○オホーツク総合振興局環境福祉長、社会福祉課長の来訪に対応
- ⑤ 6月5日 ○日の出学園送迎用福祉車両購入事業の入札を執行
- ⑥ 20日 ○特養えみあるの開設記念昼食会
- ⑦ 7月7日 ○斜里町とえみある周辺の外構工事の整備内容について協議
- ⑧ 9日 ○斜里町から、虐待通報に関する調査結果通知を受理する
- ⑨ 31日 ○斜里町より小規模多機能型居宅介護施設の整備に対する交付金内示
- ⑩ 8月6日 ○小規模多機能型居宅介護施設整備の建築確認申請の是非に係る協議
- ⑪ 6日 ○財務会計システム提供業者のプロテックと新会計移行に関する協議
- ⑫ 14日 ○斜里町と小規模多機能型居宅介護施設の整備等について協議
- ⑬ 20日 ○釧路保護観察所・網走駐在官事務所より、保護観察処分者の「社会貢献活動」に対する活動協力要請
- ⑭ 9月3日 ○斜里町より小規模多機能型居宅介護施設の整備に係る交付金について9月定例町議会に補正計上する旨の報告を受ける
- ⑮ 16日 ○北洋銀行融資課長とえみあるの増築及び外構工事の資金借入協議
- ⑯ 28日 ○日総に対して、業務体制等の不備に対する対応の申し入れを行う
- ⑰ 11月25日 ○やすらぎの苑短期入所の一時受入調整等について内部協議
- ⑱ 12月27日 ○斜里町に対し予算要望事項を提出
- ⑲ 1月14日 ○高齢者福祉部門の支払い資金不足が想定されるため、既存の積立金を取り崩し（目的外使用）一時的な資金不足に対応する対策協議
- ⑳ 20日 ○北電職員より電気料金の値上げに関する説明を受ける
- ㉑ 26日 ○北洋銀行支店長より、融資条件を特養建設時条件を踏襲したい意向
- ㉒ 2月9日 ○北洋銀行斜里支店と給与振込の電子化及び職員の財形貯蓄取組要請
- ㉓ 10日 ○施設長及び課長を含めた「経営調整会議」開催
- ㉔ 18日 ○小規模多機能ホームえみあるの開設に向けて事務処理を内部協議
- ㉕ 24日 ○次期任期の役員体制等について協議
- ㉖ 3月2日 ○北洋銀行斜里支店と融資について協議
- ㉗ 24日 ○増築工事完了による建物の引渡しを受ける
- ㉘ 30日 ○常務理事交代に伴う事務引継ぎ

2) 研修会への出席

①法人役員研修会への出席

- ・開催時期 平成26年12月16～17日
- ・開催地 札幌市
- ・研修名 社会福祉法人役員研修会（道社協主催）
- ・出席者 石田常務理事 馬場理事 佐藤施設長

(13) 主要な事業への取り組み

1) 経営理念等の施行・周知

- ①法人の進むべき方向性や信条を明確にした理念を文章化し、平成23年4月1日から施行している。
- ②各職員が行動を起こす際の拠り所となるように啓蒙に努めている。

2) 中期経営計画の策定

- 将来を見据えた計画的な事業展開が必要との観点から、中期的な経営計画の策定を予定したが、具体的な取り組みには至らなかった。

3) 人事管理の適正化と人事考課制度

- ①要員管理
 - ・必要な要員及び人材確保に努めているが、予期せぬ退職者や療養職員の発生により計画した要員の確保に苦慮する状況が続いている。
- ②人事制度の適正化
 - ・職務・職階等への理解について継続して取り組むことが必要な状況にある。
- ③人事考課制度の進捗
 - ・評価者の育成研修などを再構築するなど、評価者の習熟に努める必要がある。
 - ・自己評価・評価者評価、本人へ結果のフィードバックの手順で構成しているが、現段階では評価内容の一部変更など受験者・評価者双方の習熟度合に見合った内容での実施が必要と思われる。

4) 資質向上・人材の確保

①研修計画に基づいた人材育成

- ・座学のみでなく演習に重点を置いた研修の実施により一定の成果があった判断している。
- ・部署毎に一定の外部研修を受講できたと思うが、より多くの職員に研修機会を提供できるよう取り組み人材の育成強化を図りたい。

②教育訓練を重視した人材育成

- ・研修体系の整備について取り組むことが必要とされている。
- ・基本的なマナーの徹底の観点からの訓練が必要とされている。

③事業運営内容の理解を深め職員の経営参加意識向上

- ・事業計画、資金収支予算、事業報告、決算財務諸表などについては周知が図っているが、理解を深める手法等については更に検討が必要である。

5) 広報紙の発行・情報発信

①法人広報紙の発行

- ・11月1日付で年1回の法人広報紙第5号を発行し町内世帯等に配布した。

②電子媒体による情報公開

- ・平成25年4月4日付で公開した法人の専用ホームページを活用して広報に努めたが、情報の更新等についてはさらに工夫・検討が必要である。

③各事業所会報の定期発行

- ・今年度についても発行体制が整わず定期発行には至らず懸案事項となっている。

6) 家族会・地域等との交流促進

①家族会とは、家族会活動、各種行事等を通じて情報提供や家族間の交流を促進した。

②地域自治会やボランティア団体の皆様から行事へのご協力を頂くなど、地域と密接につながった施設運営を目指した努力が払われている。

③施設が有する介護技術や支援技術等を、地域で暮らす方達に還元することについては、取り組むに至らなかった。

④斜里町との間で、災害時における避難所等施設利用および福祉避難所に関する協定を交わし、地域への貢献を図ることとした。

7) 地域密着型特別養護老人ホームえみあるの運営開始

①平成26年4月1日に運営を開始し、5年半ばには利用者が定員に達し初期目的に近い利用状況となった。

②新規施設ならではのとも言えるが、新しい視点での介護技術習得など成果を生んでいる点も多い。

③地域関係者やボランティアの皆様などから、援助・協力も数多く寄せられている状況にある。

8) 小規模多機能ホームえみあるの開設準備

①地域密着型特別養護老人ホーム整備着手と合わせての計画であるが、建設費高騰という状況になり、再検討を重ねつつ既定計画のとおり進めることとし、年度内完成をみたところである。

②不安視していた人員確保については、残念ながら予定している運営を万度に実施できる人に達することが出来なかった。

③財源確保

- ・介護基盤緊急整備特別対策事業交付金を受けた
- ・市中金融機関との財源交渉により借入金を確定できるに至った

9) 職員の健康管理

- ・健康管理については、健康診断の結果に基づく医師の指導の範囲にとどまり、独自に健康講話を実施するなどの健康指導等には至らなかった。

10) 定期昇給について

- ・平成26年4月1日付で正規職員及び準職員について定期昇給を実施した。
- ・臨時職員等についても所要の改正（増額）を実施した。

11) 定年後の退職者の取扱い

- ・職員の60歳定年後について、高年齢者雇用安定法の改正施行により平成25年4月から継続雇用が義務化されたので、就業規則を希望者全員が65才まで勤務可能となる制度として改正施行を行った。
- ・これ以後、継続雇用者は4名になっている。また、60歳以上の者の短時間の新規雇用も2名の実績となっている。

12) 新会計基準への対応

- ・新会計基準への移行は平成27年度から義務化されていて、新規事業整備とも重なり最終期限年度となったが平成27年度から実施での準備を終えた。

(14) 人事に関する事項

- 各事業部門から報告

(15) 会計に関する事項

- 別紙決算財務諸表のとおり